

…もくじ…

特集1 いきいき山梨ねんりんピック	2・3
特集2 ねんりんピック茨城の県選手団	4・5
介護ぬくもり	6～9
福祉人材センターニュース	10
福祉の学校紹介	11
ほっとすぼっと 山梨ボランティア芸能クラブ	12
共同募金会からのお知らせ	13
11月は児童虐待防止推進月間	14
広がれ！地域福祉 山梨市社協	15
福祉施設訪問「ハーベスト」	15
おしらせ	16

# やまなしの 福祉

2007年9月号



## いきいき山梨ねんりんピック開催

9月8日、小瀬スポーツ公園をメイン会場に開かれ、高齢者から子どもまで4300人が参加し、交流の輪を広げました。

**発行** 社会福祉法人 **山梨県社会福祉協議会**

〒400-0005 甲府市北新一丁目2-12 TEL 055-254-8610 FAX 055-254-8614  
<http://www.y-fukushi.or.jp/>



この広報紙の作成費用の一部は赤い羽根共同募金配分金により発行されています。

環境ISO14001の認証に基づき「環境に優しく人に優しい福祉活動の推進」を図っています



# 広がる交流の輪



いきいきと力強く選手宣誓する谷島清介さん(右)と興石その江さん(左)



みんなが夢中になった手作り工作体験コーナー



あいさつする横内正明知事



開会のあいさつをする古屋栄和県社協会長



静かな勝負の世界、次の一手は



晴天に恵まれ、大勢の来場者でにぎわった

高齢者を中心に、子どもから大人まで、世代を超えて交流を深める「いきいき山梨ねりんピック2007」(同実行委員会主催)が、9月8日(土)、甲府・小瀬スポーツ公園をメイン会場に開かれました。

大会は、ジョギングやソフトテニスなどのスポーツ交流と囲碁や将棋などの文化交流の計24種目

今年「高年齢者趣味サークル情報コーナー」

## 4300人が24種目に参加

も設けられました。新たな催しとしては「自慢の孫写真コンテスト」を開催。同コンテストには、100点を越える応募がありました。どの作品もお孫さんに対する愛情がいっぱい。かわい子どもたちの写真は、来場された方々の表情をも笑顔にしています。

このほか世代間の交流を楽しむことができる「昔の遊びや創作コーナー」、芝生広場内の「芸能フェスティバルステージ」でのテレビキャラクターショー、また「三世代の芸能発表」などが開催され、多くの親子連れでにぎわいました。

見てください。ジョギング選手の力強い走りを！



# はつらつプレーに歓声



「ねらいは定まった。負けないぞ」



投げた後のポーズが決まっています。さて、入ったかな？



はた織りに挑戦。上手にできたかな？



さわやかな歌声が響いたシルバーコーラス

# ねんりんピック 茨城2007 11月10日 ～13日



茨城大会マスコット「ハッスル黄門」

高齢者がスポーツや文化を通じて、相互の交流を深め、健康の増進や生きがいづくりを目指す「第20回全国健康福祉祭茨城大会（ねんりんピック茨城2007）」が「さわやかな 長寿の風を 茨城に」をテーマに11月10日～13日の4日間、茨城県内（19市2町）

で開催されます。今年で20回目となるねんりんピック。昭和63年に兵庫県で始まり、本県でも第5回大会が開催されました。20年前と比べ、開催種目が増え、参加者も増加しています。まさに全国の元気な高齢者の祭典となりました。

山梨県選手団は、20種目に、153人の方々が参加する予定です。秋深まる茨城県で、全国の方々とスポーツや文化活動を通して、ふれあいと交流を深めるとともに、本県代表としての活躍が期待されます。

## 山梨県選手団

◆卓球 ▽風林火山 金丸 巧(62) 古屋夫三男(72) 西川功明(66) 新関文子(73) 中込和子(65) 小林之子(64) 宮沢正人(72) 保坂寛子(67)

◆ソフトテニス ▽山梨 県チーム 遠藤松男(73) 有野次男(60) 野中康之(70) 赤澤厚子(64) 加藤光子(63) 中山勝子(63) 柳本米子(66)

◆ソフトボール ▽甲斐市体協シニア敷島 長田正興(69) 篠原勝(67) 長田公朝(63) 岸田洋一(74) 平川桂(60) 坂口正(71) 近藤芳秋(61) 長谷川勇(68) 塩澤輝男(66) 長田豊(64) 清水勇(65) 坂口勝(62)

◆なぎなた ▽山梨県チーム 中村けさ(76) 土橋上子(67) 新居寿美子(70)

◆ゴルフ ▽山梨県チーム 抽那安守(77) 谷重次(64) 早川三郎(64)

◆ペタンク ▽甲府エース 相川富重(70) 中澤正明(74) 佐藤保次(71) 今井静子(72)

石水勝彦(66) 一之瀬幸夫(61) 乙黒徳夫(66) ◆ゲートボール ▽清流の滝 松本孝(70) 岩間富士雄(67) 渡辺清則(69) 松本秋江(67) 岩間富久寿(68) 弦間正(73) ▽山梨・中央市・たから 河西正(66) 北野貴美男(70) 窪寺博(64) 竹野かつ子(73) 河西篤子(73) 甲田たか子(70) 河西啓子(69) ▽甲府山城 河西慶明(65) 深澤肇(79) 内藤八郎(79) 長田巳代子(79) 河西祥江(65)

各種御会合承ります

**ベルクラシック**  
甲府市丸の内1-1-17

TEL 055-253-4345

福祉関連各種大会・研修会・職場旅行等  
お気軽にご相談ください。

**名鉄観光サービス株式会社**

甲府営業所

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-8-12 白木屋ビル内  
Tel 055-228-3221 Fax 055-228-1457

# 山梨勢、153人が出場へ

## ◆マラソン

▽山梨県チーム 赤尾貴美夫(66) 伊藤伸江(67) 佐藤芳寛(67) 込山美恵子(66) 堤勝弥(63) 齋藤ひろ子(60)

## ◆弓道

▽山梨県チーム 竹村榮壽(72) 市川明(69) 飯野喜雄(67) 千須和公代(73) 浅野光男(78) 伊藤昇(74) 久保寺美恵子(65)

## ◆剣道

▽山梨県チーム 森博士(72) 市瀬笛実(60) 松本隆雄(60) 岩瀬正光(61) 佐藤芳三(67)

## ◆オリエンテーリング

▽山梨県チーム 山本尚子(65) 山本茂弘(65) 酒井寛(65)

## ◆囲碁

▽山梨県チーム 北村幾三(72) 新井光雄(71) 川口和子(65)



旗手の杉田明さんを先頭に入場行進する山梨県選手団  
 〓 昨年の静岡大会から (山梨日日新聞社提供)

## ◆グラウンドゴルフ

▽チーム山梨G・G 斉藤米太郎(74) 雨宮範雄(73) 佐藤憲男(64) 小宮山芳郎(74) 小林愛子(74) 志村正次(76)

## ◆太極拳

▽山梨県チーム 佐藤初江(71) 酒井昌代(71) 長田美智子(70) 望月紀久子(67) 渡辺照美(64) 大間美加子(62)

## ◆ソフトバレーボール

▽櫛形フレッシュ 古井正彦(67) 野田友一(62) 浅川金蔵(62) 花輪武博(65) 小林多代子(61) 古井三重子(62) 深沢照子(64)

## ◆サッカー

▽山梨選抜 岩田利男(77) 赤岡梧郎(79) 小林利彦(61) 水上強(73) 平林弘光(68) 池田義(67) 中沢恵之助(66) 萩原要(69) 真田利美(68) 川口勝彦(64)

## ◆シンポジウム

▽山梨県老人クラブ連合会 志村友男(86) 渡辺三男(87) 天野辰男(80) 土橋英俊(61) 天野勝(65) 山下松美(64)

河西實(61) 保坂精一(67)

## ◆水泳

▽山梨県チーム 藤巻智(64) 松本弘(71) 梶原勤(74) 深沢仁麗(78) 並木瑠璃子(61) 酒井佳代(62) 荒木洋子(64) 松本勝子(64)

## ◆ダンススポーツ

▽山梨県チーム 茅沼昭八(72) 小澤啓助(66) 小澤幸子(66) 山崎保(66) 山崎光子(66) 小西廣昭(66) 保坂邦子(65) 森田祐子(64)

## ◆ターゲットバードゴルフ

▽山梨県チーム 加藤日出男(64) 佐藤健一(68) 山本純子(62) 坂本高雄(77) 星野亘汎(69) 中村孟勃(71) 小俣節子(67) 小俣福子(70) 内田忠利(65) 西川雅子(64) 高坂孝(71) 中川文男(70)

# 養成研修を実施

介護実習普及センター

## マナーや技術講義



介護ボランティア養成研修

ボランティアをするこ  
とで、他人から必要  
とされながら、実は  
その人から得るもの  
があり、その人に生  
かされていることに  
気が付きます。ボラ  
ンティア活動を通じ  
た、様々な生き方や  
考えを持っている人  
たちとの出会いを宝  
にしてください」と  
話しました。

ある受講者は「自  
分にできる、何か“

か”を活用しましょう。

★ボランティアをしようと  
思うとき、まず自分ができ  
ること、やりやすいことを  
身の回りから見つけて、気  
楽な気持ちで活動を始めて  
みてはいかがでしょうか。

自分と相性のよい「好きな  
こと」を「好きなだけ」や  
ってみましょう。

### 介護に関する

### ボランティアに

### 興味がある方に…

11月6、7日に開催する

同養成研修の参加者を募集

します。詳しくは県立介護  
実習普及センターにお問い  
合わせください。

### 1日目プログラム

▽ボランティアとは…▽ボ  
ランティアに役立つ介護技  
術▽高齢者疑似体験

### 2日目プログラム

▽地域で高齢者を支えるた  
めに「サービス」の活用とす  
き間の支援▽施設ボランテ  
ィアの実際・施設で求めら  
れるボランティアの力▽お  
年寄りの生活を支援するボ  
ランティア活動について考  
える

す。

担当する講座は「介護

を支える保健・医療・福

祉サービス」。グループワ

ークによる保健(保険)・

医療・福祉の連携を学ぶ

ことができます。「福祉を

身近なものとして考えら

れるようになった」と受

講者に好評です。(笛吹市

地域包括支援センター社会

福祉士及び介護支援専門員)

県立介護実習普及センタ  
ーは、7月3、4の両日、  
ボランティアとしての基本  
姿勢や地域で介護を支える  
視点について多面的に学ぶ  
ことを目的とした「介護ボ  
ランティア養成研修」を開  
催しました。

動上のルールやマナー、車  
いすの扱い方や歩行などの  
介護技術について講義しま  
した。

講師の1人、NPO法人  
山梨県ボランティア協会事  
務局長・岸本千恵さんは  
「ボランティア活動を適当  
に行い、適当に止めてしま  
っては何も残りません。ボ  
ランティア活動を支援  
している4人の講師が、活

### あなたの持ち味を 生かそう 養成講座から学ぶ

★特別な知識や技術を身に  
つけなくても、いま持って  
いる趣味や仕事を生かせま  
す。あなたにもできる、何

## 広がる介護ボランティア



### 介護講座 講師紹介

### 小林みずえ先生

「1人ひとりがその人  
らしく輝いてほしい」が  
モットー。地域福祉の総  
合案内”として地域の  
方々の「持っている力を  
発揮できる  
ように」と  
相談などに  
応じていま

## 僕たちも参加したよ

夏休み小学生介護講座(らくらく箸作製)



青少年介護講座(高齢者疑似体験)



# 小中高校生も体験

## 夏休みに福祉用具作りも

本県の高齢化率は22・4% (山梨県「平成19年度高齢者福祉基礎調査」)。全国の高齢化率が21・3%であるため、本県は全国よりも約2年高齢化が進んでいきます。

一方、介護を受けずに自立して生活できる「健康寿

命」の長さについては、全国の中でも本県が上位にあるという報告があります (山梨県「健康寿命実態調査」平成16年3月)。

高齢者となり、健康を維持しながら、これまでの生活が守られることは大変重要です。

こうした考えのもと、高齢者と子ども、青少年、そ

して地域で生活する人たちが声を掛け合ったり、接する機会が増えるようになれば、その地域はより活性化され、安全で暮らしやすい社会となります。

7～8月の夏休み期間中、センターは小・中・高校生を対象とした、介護講座を開催しました。内容は、高齢者疑似体験、福祉用具作製を組み合わせた、体験型のプログラムです。

高齢者の身体機能を疑似体験することで、生活の不自由さ、つまり、高齢者を理解することにつながります。また生活の不自由さは、福祉用具を使うことで自由にはなくなることも学びました。

本講座は、地域で暮らす高齢者とのコミュニケーションづくりにも役立てられ、また子どもたちが目指す職業のヒントや福祉について考える機会づくりとなっています。

また核家族化が進み、高

介護  
ぬくもり

介護講座

財団法人 山梨日日新聞厚生文化事業団

サポートします  
やまなしの福祉

〒400-8505 甲府市北口2-6-10 ☎055-231-3106



### 広告募集中!

県社会福祉協議会では、バナー広告と本紙「やまなしの福祉」の広告を募集しています。詳しくは、本会ホームページの「お知らせボード」に掲載している各広告募集要領をご覧ください。

県社協企画課 電話 055-254-8610

介護ぬくもり

おしらせ

10月・11月の福祉用具・住宅改修相談のご案内

「車いすやベッドを選びたい」「トイレに手すりを取り付けたい」などの相談に専門家が応じます。(表左)

相談時間は、いずれも午 007(全国社会福祉協議

11月	10月	理学療法士	作業療法士	建築士
10日(土)	10日(水)	14日(水)	13日(土)	13日(土)・24日(水)
10日(土)・28日(水)				

国際福祉機器展を開催

後2時から4時までです。 ※予約優先となります。

会と保健福祉広報協会主催(が、10月3日(水)から5日(金)の3日間、東京ビッグサイト(東京都江東区有明)で開催されます。手作りの自助具から最先端技術を活用した福祉車両まで、2万5千点の福祉機器を展示。子ども向けの福祉機器を展示する「子ども広場」も設置されます。また福祉機器の利用やリハビリなどの相談コーナー

もあり、専門家が無料で相談に応じます。

機器展の入場は無料。ただし、有料で参加申し込みが必要な国際シンポジウムなどもあります。詳しくはFAX03・3580・3052 03・3580・3052 FAX03・5512・9798 ホームページhttp://www.hcr.or.jp

図書紹介



著者 後藤榮子  
発行所 (株)日本医療企画

少しの身体の変化で、いつもの生活までも変わってしまう...そういった時に、身体の状態別に紹介

またいつも使っている物を自分で使いやすくするための工夫やコツ、身の回りにある物を活用する方法などが掲載されています。この他、介護・看護・福祉についての本233冊、ビデオ194本の貸し出しをしています。詳しくは県立介護実習普及センターにお問い合わせください。

介護講座の申し込み、福祉用具の相談、図書・ビデオの貸し出し、福祉用具・住宅改修相談の予約などは、山梨県立介護実習普及センターにご連絡ください。  
電話055・254・8680 FAX055・254・8690  
☆山梨県社会福祉協議会ホームページ http://www.yf-kushu.or.jp の「福祉用具・住宅改修お問い合わせフォーム」からのメール相談も受け付けています。

排泄介護の夢。

世界初、自動排泄処理機「マイルレット夢」  
完全な自動排泄処理機能を備え、排尿・排便を自動吸引。ウォシュレット機能によりおしりを温水洗浄、温風乾燥。常に清潔で快適。さらに消臭機能はゆとりの介護環境をつくれます。

もう夜間のおむつ交換は必要ありません!

山梨県特約店 株式会社 シーガル

400-0047 山梨県甲府市德行1-6-15  
TEL/FAX055-222-9037 http://www.seagull-co-ltd.com/

新感覚なケアスタッフ  
ユニフォームをご提案します



福をお届けします 株式会社 大黒屋

緑は∞みんな福

0120-08-3729

甲府市塩部2丁目2-28 ☎055-251-4881



# コミュニケーションをサポート

人と目を合わせて会話をすることは、お互いが安心でき、気持ちるを明るくします。さらに脳の活性化にも良いとされています。

障害のある方が、自然と家族や介護者を頼りがちになったり、また年齢を重ねることに聴力が低下し、人と会話をすることが面倒になってしまふことがあります。

そうした時にも「本当はやってみたいことがある」「いつも楽しみで見ているテレビ番組で、こんなことを言っていたよ」など、いろいろなコミュニケーションを持ちたいという意思が働きます。

人と人とのコミュニケーションをサポートする福祉用具を紹介します。

## お孫さんとの会話に

商品名 もしもしフォン

**特徴** 長く伸ばし、耳当ての部分を曲げて話します。27cmから最大57cmまで伸ばせるため、目を合わせて会話をすることができます。

もしもしフォンを使ってお孫さんとの会話を楽しんではいかがでしょうか。



## 携帯電話感覚で

商品名 ボイスメッセ

**特徴** スイッチを入れ、本体を耳に当てて使います。話し相手の声やテレビの音声がよく聞こえます。薄いピンク色で携帯電話のような形をしているため、おしゃれに気を配る方にもオススメです。

## 眼球の動きで読み取る

商品名 透明文字盤

**特徴** 文字盤をはさんでお互いの視線を合わせ、眼球の動きで文字を読み取ります。発声によるコミュニケーションを取ることが難しい方も使うことができます。



## 福祉人材センターニューズ

求人事業所71カ所と

230人の求職者が参加

県福祉人材センターが7月27日（金）、昭和町・アピオ甲府で開催した『福祉の就職総合フェア2007 in やまなし「夏」』に、71の求人事業所と230人の求職者が参加しました。

求人募集数は、今年採用443件、来春採用57件と、福祉職場における人材不足の現状を表した結果でした。

一方、来春の新規学卒予



求人面接相談ブースの様子

定者や出産などで福祉職場を離れたものの、再就業を希望したり、福祉に関心をもつ未経験者などの求職者が、求人担当の話を熱心に聞く姿が見られました。

県社会保険労務士会員が「福祉人材の確保と多様化する労務管理」と題して講演。「事業者は、職員のメンタルヘルスケアと労働の適正な評価など、働きがいを実感できる取り組みを」と、労務管理の重要性について語りました。

求人面接相談ブースのほ



社会保険労務士による雇用保険についてのミニ講座

か、職能団体による福祉の仕事なんでも相談や児童・障害・老人福祉関係者による種別施設相談、ハローワーク相談などのコーナーを設置。求職者からの様々な相談に応じていました。

質の高い福祉従事者を安定的に確保することが社会問題となつている今日、厚生労働省は「社会福祉事業に従事する者の確保を図るための措置に関する基本的な指針」を見直し、8月28日に告示しました。

福祉従事者のキャリア形成の仕組みを構築しつつ、それに見合った待遇に改善していくなど、労働環境の整備が新しい指針の柱です。

指針では、福祉・介護サービス従事者は指針が示された14年前と比べて4・6倍の328万人に増えている一方、他の産業に比べて離職率が高く、給与水準が低い実態を指摘。また介護保険サービスに従事する介護職員を平成26年までに約

40〜60万人増やす必要があるとの試算も示されています。

指針を踏まえ、福祉人材センターは、将来にわたつて安定的に仕事ができるよう、相談体制の整備や、定着支援などに取り組むことが求められています。

福祉の就職総合フェア  
2007 in やまなし  
「秋」を開催

◇日時 10月5日（金）  
受け付け時間 12時〜15時  
30分

◇会場 アピオ甲府（昭

和町西条3600 電話055・222・1111）

◇参加費無料

◇求人面接相談、福祉の

仕事なんでも相談、ハローワーク相談、関係機関相談、福祉人材センター登録相談、求人求職者に役立つ甲府職業安定所と県社会保険労務士によるミニ講座を開催します（山梨県福祉人材センター 電話055・254・8654）。



全国7,200の導入実績を誇る  
福祉業務支援ソフトウェア  
「ほのぼの」シリーズ

第一システム販売株式会社

情報処理システム事業部

甲府市国母6-4-3

TEL:055-228-3677

http://www.daiichi-system.co.jp/

福祉業務支援ソフトウェア  
の導入からサポートまで



- 介護ベッド
- ステッキ、補聴器
- 寝装品
- 紙おむつ、おむつカバー
- 入浴機器、入浴用品

- 車いす、歩行器
- 床ずれ防止器、マット
- 便利/パジャマ、ねまき、下着類
- 尿器、ポータブルトイレ
- 健康器具類

フランスベッド  
メディカルサービス甲府支店

☎(055)228-5050 FAX.055-223-0130 甲府市丸の内3-33-5

## 身延山大 (身延町)

身延山大学は、その前身「善学院」として451年前の弘治2(1556)年に開学、平成7年に仏教福祉部、17年に同学部仏教福祉学科を設置しました。

同大の目的は、広い視野に立ち、自ら「気配り、目配り、心配り」ができる専門教育を行い、社会のために身をもって尽くすことができる人間の養成とされています。

仏教福祉学科は、仏教を基本とし、介護福祉コースと児童福祉コースを設けています。

入学当初には「福祉の原点は仏教の心得から」という講義があり、仏教福祉学

# 福祉の 学校紹介

## 福祉の原点は仏教に 個性を重視した教育



少人数ならではの充実した介護実習の様子



いた時期もありましたが、亡くなった祖母との思い出も「自分を変えたい人にとっては充実した学生生活に誇りをもって過ごしています。」

「祖母と一緒に身延山久遠寺へよく来ていました。福祉の職場に興味があり、祖母が亡くなって、親しみのあった身延山大学を選びました。保育士を目指して変えてくれたといえます。しかし「福祉」の精神は仏教の教えからなるものというのを学び、仲間との出会いによって戸惑いは自信に変わり、自分の意識を変えてくれたといえます。」

科全体で20人という、一人ひとりの個性を大切にしながらカリキュラムを編成している

今年8月、特別養護老人ホームで実習をした介護福祉コース2年の川口藍さん

「ありがとう」と声をかけてもらった時のうれしさを感じています。初めは緊張していましたが、日誌の書き方など施設職員の丁寧な指導もあって、学校で学んできたことを生かし、将来も介護の職場で働き続けたいと思います」という感想。

ます。少人数制ならではの学科を越えた学生同士の交流や情報交換も学業に対する励みになっていきます。両コースの2年生から4年生を対象とした社会福祉施設・保育所などへの実習は、夏季及び春季休暇を利用して実施します。

### 仏教福祉学科 (定員20人)

#### 〈介護福祉コース〉

①資格・免許 社会福祉士国家試験受験資格、介護福祉士、社会教育主事(任用)、身体障害者福祉司(任用)、知的障害者福祉司(任用)など

②卒業後の進路 官公庁、学校、各種福祉施設、病院、社会福祉協議会など

#### 〈児童福祉コース〉

①資格・免許 社会福祉士国家試験受験資格、保育士、社会教育主事(任用)、児童指導員(任用)、児童福祉司(任用)など

②卒業後の進路 保育所、児童養護施設、学校など

#### ○所在地

南巨摩郡身延町身延3567

電話 0556・62・0107

FAX 0556・62・0727

ホームページ

<http://www.min.ac.jp/>



舞台の飯野桂さん（甲府市）

69歳）が、ぱっと手先を返すと、視線を注いでいたお年寄りや子どもたちから驚きと感嘆の声が漏れる。手品の次は、「あ、さて、あ、さて。さては南京玉すだれー」の声が威勢良く響く。飯野さんは山梨ボランテニア芸能クラブの会長さん。仲間とともに年間60回ほど福祉施設などの訪問を続けている超多忙なボランテニアだ。

手品との出会いは山梨大の学生の時だった。教育実習が終わり、子どもたちがお別れ会を開いてくれることになった。「何かお返しを」と、手品にチャレンジした。卵を割りコップに入れて混ぜる。それを帽子に移して子どもの頭にかぶせた。消えた卵に子どもは大喜び。「手品は人を引き付ける魅力がある。覚えたらプラスになる」と確信した。卒業して中学校理科の先生と

## 山梨ボランテニア芸能クラブ 飯野 桂さん

「南京玉すだれ」のポーズをとる飯野桂さん



して教壇に立ち、赴任先で次々とマジッククラブを立ち上げた。生徒も興味津々。しかし「面白くて、勉強よりも手品に打ち込んでしまうのでは」と心配したほど。ある時、出席した結婚式で南京玉すだれを見て、技を身に付けたいと思った。東京まで通って練習した。

定年退職が近づくと「これからは、やりたいことをやる」と決意。身に付けた技でボランテニアをしようと決め、レパートリーを増やしていった。そして退職。せきを切ったようにボランテニアにのめり込んだ。多い年は100回という時も。「催しに合わせる生活」が続いている。鳴沢村でこんな経験

## 一隅照らす笑顔の輪／＼芸、組み合わせ公演

をした。「おばあちゃんが涙を流して、長生きしたおかげで、いいものを見せてもらった」。ありがとって」。この言葉に突き動かされて、さらに精進を重ねた。また様々な芸能を身に付けている人たちに呼び掛けて、山梨ボランテニア芸能クラブを結成した。いわば人材バンク。手品、南京玉すだれ、バナナのたたき売り口上、民謡、三味線、ハーモニカ、銭太鼓、フラダンスなど、20以上のジャンルの芸達者が集まった。芸を組み合わせる公演できるようになった。

「隅にいても少しでも役に立てれば。そして笑顔をもらう人生を送りたい」という。最近はその農家と「生き甲斐工房」を結成。安全、新鮮、安い、信頼、触れ合いを目的に、小さな野菜の直売所を始めた。ボランテニア活動を支えてくれた妻の滋子さんを昨年、亡くした。「ブドウを任せっぱなしにしていた。ありがたみが身にしみる」。滋子さんが励んできた短歌と書の内容を収めた遺稿集の準備を進めている。

より良き福祉社会をめざして・・・

学校法人優和学院

優和福祉専門学校

○介護福祉士養成校（2年制） ○介護福祉士の国家資格取得  
社会人の方も入学歓迎

オープンキャンパス 10月13日（土）14：00～

中巨摩郡昭和田築地新居374-1 TEL 055-268-6001

お気軽に  
お問い合わせ  
下さい

あなたの街のやさしい手をよろしくお願いします。  
介護のことなら何でもご相談下さい。



在宅介護  
やさしい手



- 居宅介護支援・ケアプラン作成
- 訪問介護
- 通所介護
- 訪問入浴
- 福祉用具貸与・販売
- 障害福祉サービス
- 小規模多機能型居宅介護

甲府本部 甲府市上石田1-7-14 ☎055-236-6210



# 目標は1億9500万円

## 共同募金会からのお知らせ

共同募金は、地域のいろいろな活動のために役立っています。



**平成18年度の結果**  
平成18年度は県民の皆様方のご理解と多くのボランティアの方々のご尽力により、目標額198,000,000円に対して185,228,525円(93.5%)の尊い浄財をいただくことができました。心から感謝します。

また思いやりや助け合いの気持ちを広め、共同募金運動が身近で目に見える運動として一層定着するよう、全力で取り組みます。なお本会配分委員会は今年度の目標額を、195,

皆様の善意は、県内の福祉施設や団体、地域の福祉活動などに役立たせていただきました。  
**平成19年度の目標額**  
平成19年度も10月1日から12月31日までの3カ月間、赤い羽根共同募金運動が全国一斉に展開されます。本年度は、これまでも増して地域社会の特性を把握し、全国共通配分テーマ「安心・安全なまちづくり支援」など、地域での生活に根ざした福祉の推進に努めます。

## 地域つくる 市民を応援

### 共同募金改革スタート



今年5月、中央共同募金会企画・推進委員会が「地域をつくる市民を応援する共同募金への転換」という答申を示しました。答申に基づく組織改編と

石原一男県共同募金会事務局次長(県社会福祉協議会広報委員会委員)

・災害時にも地域を支える共同募金の役割の発揮など  
・本市は、今後具体的に取組むべき事項や課題などについて、県社会福祉協議会や共同募金会の支会・分会と協議して進める予定です。

・地域をつくる市民を応援する共同募金への転換  
・市民参加の「市町村共同募金委員会」の設置  
・都道府県共同募金会の機能強化  
・中央共同募金会の機能強化

## 共同募金の仕組み

### 5月

要望申請  
福祉施設  
福祉団体  
社会福祉協議会など

### 7月

目標額決定  
役員会で配分の必要金額・目標額の決定を行います

### 8月

調査  
配分委員会が申請内容・実態調査を行います

### 9月

告示  
厚生労働大臣の告示

### 10月～12月

募金活動  
赤い羽根共同募金運動の実施

### 1月

集計  
集まった募金を集計します

### 2月

配分計画  
役員会で配分計画を検討します

### 翌年度4月

配分  
福祉施設・団体などへ配分します

000,000円に設定し、募金活動を展開します。皆様方のご理解とご参加を心からお願ひします。

機能強化(内容は次のとおり)については、改革1年次としてスタートしたところです。

# 関心の向上へ 11月は推進月間

「児童虐待の防止等に關する法律（児童虐待防止法）」が、平成12年11月に施行され、社会の関心は高まってきました。

子ども虐待件数は、毎年増え続け、その内容も専門的な援助を必要とするケースが増え、尊い生命さえも

犠牲となる事件も起きています。18年度、県内市町村と中央・都留両児童相談所に寄せられた子ども虐待の相談件数は、前年度より78件増え、633件に上りました。17年4月からは、市町村も相談窓口となったことや、

厚生労働省は、子ども虐待問題に対する社会的関心の喚起と、国民1人ひとりが主体的なかかわりを持つための意識啓発を図るため、16年から11月（児童虐待防止法施行月）を児童虐待防止推進月間と位置づけました。

## 子どもへの虐待防止を

子ども虐待防止のオレンジリボン



間団体）により展開されています。

県内にある児童自立支援施設「県立甲陽学園（甲府市中道町）」は、同キャンペーンに参加。同園で

### オレンジリボンで

### 防止キャンペーン

オレンジリボンを身につけることで、問題意識を持ち、虐待がなくなるようにと願いをこめた「オレンジリボンキャンペーン」活動が、児童虐待防止ネットワーク（民

援施設「県立甲陽学園（甲府市中道町）」は、同キャンペーンに参加。同園で

4003

生活する子どもたち自身が、虐待をなくしたいという気持ちを含めて、オレンジリボン1つひとつを手作りしています。同園は、キャンペーンの主旨に賛同される方に、オレンジリボンを配布しています。甲陽学園 電話055・266・

待防止推進月間と位置づけました。子どもたちの生きる権利を守るのは、おとなの責任です。子ども虐待に関心を

### 子ども虐待とは

- 1 身体的虐待：なぐ、ける、投げ落とす、激しく揺さぶる、冬場の戸外に閉め出すなど
- 2 性的虐待：性的行為の強要、性器や性交を見せるなど
- 3 ネグレクト：家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置するなど
- 4 心理的虐待：言葉による脅し、無視、兄弟間の差別的扱い、子どもの面前で配偶者に暴力をふるうなど



### 子どもを虐待から守るための5か条

（厚生労働省）

- 1 「おかしい」と感じたらず迷わず連絡（通告）（通告は義務＝権利）
- 2 「しつげのつもり…」は言い訳（子どもの立場で判断）
- 3 ひとりで抱え込まない（あなたにできることから即実行）
- 4 親の立場より子どもの立場（子ども

- 5 虐待はあなたの周りの命が最優先



## 山梨市社協の災害対応

### 防災訓練前に研修会 地域連携の充実を目指す

山梨市社会福祉協議会は、平成16年から毎年、大規模災害に備え、災害・防災ボランティアについての訓練や研修を行っています。

昨年度からは、市社協だけでなく、市災害対策本部と連携を強化した「災害ボランティアセンター運営訓練」を実施。市内の区長・自治会長や民生委員をはじめとする多くの社会福祉関係者が参加しています。

今年9月1日の訓練をより効果的に行うため、事前研修会を8月に実施。峡東地域県民センターの丹澤保幸地域防災幹による東海地震についての講演、また昨年、豪雨災害に見舞われた長野県諏訪市の関係者による対談を行いました。

対談は、自らも被災者となりながら、要援護者の支援にあたった諏訪市民生委員児童委員協議会の松木新一会長、また災害ボランティア



防災訓練の前に開いた研修会

アセンターの立ち上げやその運営にあたった同市社協の桜井幸雄事務局次長から緊迫感のある体験談を聞くことができました。

なかでも、災害ボランティアセンターと民生委員のかかわりが非常に重要だったこと、個人情報保護の原則としながらも、事前に了解を得ておき、緊急時には区(自治会)や消防団と要援護者情報を共有する必要があることなどを痛感したとの報告がありました。

「自分たちには何ができないのか、何をしなければならぬのかを考える機会となった」と参加者の感想でした。

## 福祉施設 訪問

### 児童養護施設「ハーベスト」

#### 家庭的な雰囲気での細かなケア

自分たちで決めた学習会で机に向かう子どもたち



児童養護施設「ハーベスト」は、子どもたちが家庭的な雰囲気の中で生活するために、

今年4月、富士吉田市に開設した「ハーベスト」は、さまざまな事情により自分の家で暮らすことができない子どもたちが生活する児童養護施設です。

「自立をうながし、自主的・自律生活を創りだす」は、同施設の処遇方針。

8月1日現在、20人の子どもたちが同施設で生活しています。心の安定を取り戻し、人間性を高め、やがて自立に向かって歩み出していほしいと願う職員は、いろいろな体験を積んでもらおうと、1人ひとりの子どもたちと向き合っています。

小規模グループケア棟を整備しました。リビングやキッチン、お風呂を完備。子どもたちが6人程度で日常生活をおくるので、職員の細かなケアが可能です。



プライバシーに配慮した個室

#### 施設概要

施設名 社会福祉法人白風会 児童養護施設  
ハーベスト  
住所 403-0004 富士吉田市下吉田6770-1  
電話 0555-21-2131  
F A X 0555-21-2132

敷地面積 2,269.68㎡  
建物面積 1,082.12㎡ 鉄筋コンクリート2階建て  
定員 40名  
併設事業 特別養護老人ホームいちいの木

## おしらせ

### 10月21日にボラフェス開催

「第5回やまなしボランティアフェスティバル」を北杜市高根町で開催します。「生き生きとつなげようボランティアの心～広げようボランティアの輪～」



笛吹市で開催した昨年の「やまなしボランティアフェスティバル」

をテーマとした、どなたでも参加できる内容となっています。

参加費は無料です。ぜひおでかけください。

○日時 平成19年10月21日(日)  
9時30分～15時 雨天決行

○会場 北杜市高根体育館敷地内(村山北割111番地)

○内容 発表ひろば(こころの体操、ステージ発表など)、交流ひろば・学びひろば(体験学習)

○問い合わせ 北杜市社会福祉協議会(電話0551・47・5202) 同実行委員会事務局(電話055・251・0039)

### 社会福祉大会は10月30日

県社会福祉協議会・県共同募金会は「第55回山梨県社会福祉大会」を開催します。

多くの方々のご来場をお待ちしています。

○日時 平成19年10月30日(火)  
式典：13時30分 公演：14時30分～15時30分

○会場 山梨県立県民文化ホール大ホール(甲府市寿町26-1)

○公演 認知症予防啓発コント「ぼけちゃあいけんよPART1」山梨生きいき劇団

平成16年2月、認知症予防と高齢者の健康生きがいつくりの啓発を目的として発足。平均年齢68歳。笑いを交えながら、認知症予防には何が大切なのかを伝えます。

○入場料は無料、手話通訳がつきます。

○問い合わせ 県社協企画課(電話055・254・8610)

### 福祉医療機構助成事業の募集

独立行政法人福祉医療機構は、「平成20年度長寿・子育て・障害者基金事業助成金」助成事業(地方分)の募集を行っています。

○助成事業

1. 高齢者・障害者福祉基金…地域の福祉・介護ネットワーク形成や高齢者・障害者の社会参加の促進などを図る事業

2. 子育て支援基金…子育て支援や青少年の非行防止・健全育成、虐待・いじめ対策などを推進するための事業

3. 障害者スポーツ支援基金…障害者スポーツの育成・強化やスポーツを通じた障害者の社会参加の推進などの事業

4. モデル事業助成…①若年性認知症の人と家族への相談、支援、啓発事業②“ふるさと”ふれあい(郷土に伝わる料理、工芸、文化及び芸能などを介した世代間交流)子育て支援事業③携帯電話メールによる子育て情報(防犯・防災、イベント、感染症・医療、食品・食中毒など)配信事業

○助成対象：助成対象事業を実施できる法人・団体

県社協助成事業推薦審査委員会(11月開催予定)で助成事業のプレゼンテーションができること

○募集期限：平成19年10月末日(当日消印有効)

○詳しい内容は、県社協ホームページに掲載しています。

<http://www.y-fukushi.or.jp/>

○問い合わせ 県社協企画課(電話055・254・8610)

### 「健康生きがいつくりアドバイザー養成講座」受講生募集

山梨文化学園は、財団法人健康・生きがい開発財団認定資格「健康生きがいつくりアドバイザー」養成講座を開講します。

この講座は、中高年の方が健康生きがい、地域づくり、仲間づくり、福祉テーマなどを学び、地域や企業、団体などで活動する時に役立つ内容です。

○受講資格 中高年の方の健康生きがいつくりを支援する意志のある方

○期間 ①1次養成講座(10月6日～12月1日まで毎週土曜日(11月3日は休講)、全8回

※12月8日(土)1次養成講座審査試験があります。

②合宿認定研修(平成20年2月15日(金)～18日(月))

○受講料 ①1次講座55,000円(テキスト、1次試験料含む)

※別途、新規に同学園入学の方は入学金5,775円がかかります。

②合宿認定研修費40,000円(宿泊費、東京までの交通費を除く)

○申し込み 山梨文化学園(電話055・231・3090 FAX055・231・3073)